

IV 自己評価・評価書作成のプロセス

(自己点検・評価をどのような体制で、どのようにして行ったかを簡潔に記述してください。)

自己評価 2 1 の自己点検・評価書を作成にあたっては、本学の自己点検・評価運営委員会の委員をベースとした委員会「自己評価 2 1 委員会」を組織し、自己点検・評価書を作成した。自己評価 2 1 委員会の委員については、自己評価 2 1 の評価基準（小項目）ごとに評価・点検責任者を指名し、全評価・点検責任者に自己評価 2 1 委員会委員を委嘱した。評価・点検責任者には担当評価基準について責任を持って評価できる教授 15 名、事務局長 1 名を指名した。

評価・点検責任者は、評価基準（小項目）の自己点検・評価を実施するために必要なスタッフを指名し、2009 年 7 月 3 日～10 月 31 日の間に点検・評価を実施し、第一次原稿を執筆、提出した。提出された第一次原稿は、自己評価 2 1 委員会委員により現状分析、点検・評価、改善計画及び判定結果が妥当なものであるかを審議し、修正が必要と思われる箇所については自己評価 2 1 委員会からの改善提案の形で各評価・点検責任者にフィードバックした。

フィードバックされた修正案を受け、評価・点検責任者は 2009 年 12 月 28 日を期限として再度自己点検・評価の見直しを行い、自己点検・評価書の修正版を提出した。

修正された自己点検・評価書を受け、学長を中心とした「自己評価 2 1 ワーキンググループ」を組織し、自己点検・評価書の最終審査を実施。審査会での修正を経て、2010 年 3 月 31 日に京都薬科大学自己点検・評価報告書を完成させた。